

第26回茨城県健康福祉祭 いばらきねんりんスポーツ大会開催要綱

1 目 的

この大会は、高齢者に適したスポーツを通じて健康の保持増進を図るとともに、地域間の交流を深め、明るく活力ある長寿社会の推進に寄与することを目的に開催する。

2 名 称

第26回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会

3 主 催

茨城県、社会福祉法人 茨城県社会福祉協議会

4 主 管

茨城県レクリエーション協会、茨城県ゲートボール連合会、茨城県ペタンク協会
茨城県グラウンド・ゴルフ協会、茨城県ニュースポーツ協会

5 後 援（予定）

ひたちなか市、公益財団法人茨城県老人クラブ連合会、チャレンジいばらき県民運動、茨城放送、茨城新聞社、朝日新聞水戸総局、読売新聞水戸支局、毎日新聞水戸支局、産経新聞水戸支局、東京新聞水戸支局、時事通信社水戸支局、共同通信社水戸支局、日本経済新聞社水戸支局

6 種 目

クロッケー、ゲートボール、ペタンク、グラウンド・ゴルフ及びワナゲ

7 開催時期及び場所

期 日 令和3年10月14日（木）小雨決行 【予備10月15日（金）】

場 所 茨城県立笠松運動公園

所在地：ひたちなか市佐和2197-28

補助陸上競技場 … 受付、開・閉会式及びゲートボール

野球場 … クロッケー、ペタンク及びワナゲ

球技場 … グラウンド・ゴルフ

時 間 受 付 8：45～ 9：15

開 会 式 9：15～ 9：45

競 技 10：00～15：00

閉 会 式 15：15～15：45

解 散 15：45～

8 実施態度の決定

- (1) 実施態度の決定は、大会当日の午前5時59分に「茨城放送」で放送する。
- (2) 荒天時や新型コロナウイルス感染拡大防止のため等の不測の事態で開催日及び予備日も実施できない場合は、中止とする。

9 運営委員会

大会の円滑な運営を図るため、大会運営委員会を設置する。

10 参加チーム及び競技者

- (1) 参加者は、(昭和38年4月1日以前に生まれた人) とする。
- (2) チーム編成及び競技者は次のとおりとする。

①クロッケー	1チーム5名（競技者3名、補欠2名）以内とする。 ※競技者のうち1名を主将とする。
②ゲートボール	1チーム8名（競技者5名、交代者2名及び監督1名）以内とし、試合は男女混成で、女性が常時2名以上4名以内、また、70歳以上が常時1名以上（男女問わず）選手として出場するものとする。 ※監督を置く場合は専任とし、競技者（交代者を含む）を兼ねることは出来ない。 ※競技者のうち1名を主将とする。
③ペタンク	1チーム4名（競技者3名、監督1名）以内とし、試合は常時女性が1名以上選手として出場するものとする。また、70歳以上が常時1名以上（男女問わず）選手として出場するものとする。 ※監督は競技者を兼任できるが、その際は競技者としても登録する。
④グラウンド・ゴルフ	競技者6名以内とする。
⑤ワナゲ	1チーム5名（競技者4名、補欠1名）以内とし、常時女性が1名以上選手として出場するものとする。 ※競技者のうち1名を主将とする。

- (3) クロッケー、ゲートボール、ペタンク及びワナゲとも、各市町村から1チームとする。

また、グラウンド・ゴルフについては、各市町村6名以内とする。

ただし、60歳以上人口（令和3年1月1日現在）の多い水戸市、日立市、土浦市、古河市、取手市、つくば市、ひたちなか市においては、各種目2チーム（グラウンド・ゴルフは10名以内）を出場させることができる。

- (4) 選手登録及び交代について、開催日当日の登録選手受付け後は変更を認めない。
ただし、グラウンド・ゴルフについては、選手登録変更の受付けは10月1日（金）までとし、その後の変更は認めない（その選手については、欠場とする）。

1 1 競技規則等

(1) 競技規則

本大会の競技規則は、下記の競技規則に準じた大会ルールを運用する。

①クロッケー	茨城県レク・クロッケー協会運営規則
②ゲートボール	公式ゲートボール競技規則・審判実施要領 2019 及び大会申合せ事項 ※ユニホームについては、統一することが望ましい。
③ペタンク	日本ペタンク・ブール連盟制定の競技規則（2017年8月1日改正）及び第26回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会ペタンク実施ルール
④グラウンド・ゴルフ	日本グラウンド・ゴルフ協会ルール（ <u>グラウンド・ゴルフルールブック 2021</u> ） ※コース及びチーム編成等については、大会運営委員会の協議により別に定める。
⑤ワナゲ	<u>第26回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会ワナゲ実施ルール</u>

※競技規則の細部については、大会運営委員会の協議により定めるものとする。

(2) 競技方法及び勝敗の決定

各競技における競技方法及び勝ち負けの決定については、第26回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会実施ルールによるものとする。

(3) 競技用具

以下の競技用具については、主催者側が用意する。

クロッケー	ゲートボール	ペタンク	グラウンド・ゴルフ	ワナゲ
・試合ボール ・フープ ・ゴールペグ	・試合ボール ・ゲート ・ゴールボール	・ボール ・ビュット ・ポータブルサークル	・ホールポスト ・スタートマット	・ワナゲ台 ・輪

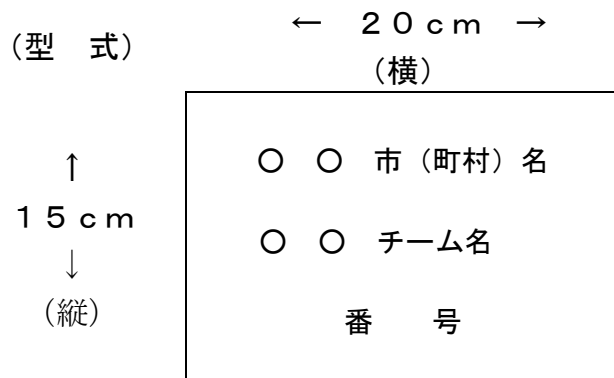
《参考》主催者側が用意する大会使用予定競技用具

①クロッケー	日本レク・クロッケー協会公認品
②ゲートボール	日本ゲートボール連合認定品
③ペタンク	日本ペタンク・ブール連盟公認品
④グラウンド・ゴルフ	日本グラウンド・ゴルフ協会認定品
⑤ワナゲ	日本ワナゲ協会公認品

(4) ゼッケン

出場選手は、市町村名、チーム名及び番号を記したゼッケンを身体の胸部及び背部に付ける（ゼッケンは参加チームにおいて準備するものとし、これに準ずるものであれば、日頃使用しているものでもよい）。

ただし、グラウンド・ゴルフについては、チーム名の記載を必要としない。



(5) 審判員

大会審判員は大会運営委員長が認めた者とする。

1 2 表 彰

クロッケー、ゲートボール、ペタンク及びワナゲの上位4チームは、次により賞状、カップを、個人にはメダルを授与する。

なお、グラウンド・ゴルフについては、個人上位3名に、賞状、カップ及びメダルを授与し、4位から6位には賞状及びメダルを授与する。

賞	チーム	個 人
(1) 優 勝	賞状・カップ	金メダル
(2) 準優勝	賞状・カップ	銀メダル
(3) 第3位	賞状・カップ	銅メダル
(4) 敢闘賞	賞状・カップ	銅メダル

1 3 全国健康福祉祭（ねんりんピック）への派遣

大会の試合結果をもとに、ゲートボール、ペタンクについては、上位チームから各1チームを、グラウンド・ゴルフについては、上位から6名を「第34回全国健康福祉祭神奈川・横浜・川崎・相模原大会」に派遣する。

ただし、ゲートボール、ペタンクについては、ぎふ大会（令和3年度開催）に選手として参加した競技者は派遣しない。

第26回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会 実施ルール

< クロッケーの部 >

1 先攻・後攻の決定

<予選>	<決勝トーナメント戦>
組み合わせ表の左側に記載されているチームが先攻とする。	ジャンケンにより勝ったチームが先攻・後攻を選択できる。

2 予選（リンク戦）での勝負の決定

両チームが同点のときは引き分けとし、ペグ合戦は行わない。

3 予選での順位の決定

次の順で予選順位を決定する。

- (1) 勝ち数
- (2) 総得点（合計得点の多い方）
- (3) 総失点（合計失点の少ない方）

4 決勝トーナメントでの勝負の決定

両チームが同点のときは、次の順で勝ち負けを決定する。

- (1) 両チーム全員によるペグ合戦
- (2) 代表者1名によるペグ合戦

5 棄権（失格）

次の場合は棄権又は失格とする。

- (1) チームが棄権を申し出た場合
- (2) 競技開始5分前に集合しない場合
- (3) 審判員の指示に従わない場合
- (4) 競技用具を持参しない場合

なお、この場合相手チームに17点（17対0）を与え相手チームを勝ちとする。

ただし、予選同一ブロック内で2チームが棄権する等の場合は試合の組合せを見直すことがある。

6 コートの大きさ

- (1) コートは長方形とし縦16m×横20m（長短の比は4：5）とする。
- (2) 区画線の外側から1mに規制ラインを周囲に設ける。

7 その他

試合ボール、フープ、ゴールペグは主催者が用意する。

マレー、練習用ボールは各チームで持参するものとする。

試合ボールは練習に使用不可とする。

第26回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会 実施ルール

＜ ゲートボールの部 ＞

1 先攻・後攻の決定

＜予選＞	＜決勝トーナメント戦＞
組み合わせ表の左側に記載されているチームが先攻とする。	ジャンケンにより勝ったチームが先攻・後攻を選択できる。

2 予選（リンク戦）での勝負の決定

両チームが同点のときは、次の順で勝ち負けを決定する。

- (1) 上がりボールが多いチームを勝ちとする。
- (2) 第3ゲート通過ボールが多いチームを勝ちとする。
- (3) 第2ゲート通過ボールが多いチームを勝ちとする。
- (4) 奇数1・3・5・7・9番、偶数2・4・6・8・10番を分け後ろ向き上に向けてジャンケンをする。相対する対戦相手の勝者が多いチームを勝ちとする。

3 予選順位の決定

次の順で予選順位を決定する。

- (1) 勝ち数
- (2) 得失点差
- (3) 対戦結果
- (4) 総得点

4 決勝トーナメントでの勝ち負けの決定

両チームが同点のときは、次の順で勝ち負けを決定する。

- (1) 上がりボールが多いチームを勝ちとする。
- (2) 第3ゲート通過ボールが多いチームを勝ちとする。
- (3) 第2ゲート通過ボールが多いチームを勝ちとする。
- (4) 奇数1・3・5・7・9番、偶数2・4・6・8・10番を分け後ろ向き上に向けてジャンケンをする。相対する対戦相手の勝者が多いチームを勝ちとする。

5 棄権（失格）

次の場合は棄権又は失格とする。

- (1) チームが棄権を申し出た場合
- (2) 競技開始5分前に集合しない場合
- (3) 審判員の指示に従わない場合
- (4) 競技用具を持参しない場合

なお、この場合相手チームに5点（5対0）を与え相手チームを勝ちとする。

予選同一ブロック内で2チームが棄権する等の場合は試合の組合せを見直すことがある。

6 コートの大きさ

- (1) インサイドラインは縦15m×横20mとする。
- (2) アウトサイドラインは、インサイドラインの外側1mに設ける。

7 その他

試合ボール、ゲート、ゴールポールは主催者が用意する。

スティック、練習用ボールは各チームで持参するものとする。

試合ボールは練習に使用不可とする。

第26回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会 実施ルール ＜ ペタンクの部 ＞

1 先攻・後攻の決定

予選・決勝トーナメント戦ともに、ジャンケンにより勝ったチームを先攻とする。

2 競技時間

(1) 予選 1試合25分

(2) 決勝 1試合30分

※ 競技時間終了の時点で、メーヌが途中の場合でも終了とする。途中で終了したメーヌは得点に加えない。

3 予選（リンク戦）での勝負の決定

(1) 11点を先取したチームを勝ちとする。

(2) 競技時間が終了した時点で、得点の多いチームを勝ちとする。又、同点の場合は引き分けとする。

4 予選順位の決定

次の順で予選順位を決定する。

(1) 勝ち数

(2) 総得点（合計得点の多い方）

(3) 総失点（合計失点の少ない方）

(4) 同じ場合には代表者による決定戦を行う。（但し一投勝負とする。）

5 決勝トーナメントでの勝負の決定

次の順で勝負を決定する。

(1) 13点を先取したチームを勝ちとする。

(2) 競技時間が終了した時点で、得点の多いチームを勝ちとする。

(3) 得点が同じ場合には代表者による決定戦を行う。（但し一投勝負とする。）

6 棄権（失格）

次の場合は棄権又は失格とする。

(1) チームが棄権を申し出た場合

(2) 競技開始5分前に集合しない場合

(3) 審判員の指示に従わない場合

なお、この場合相手チームに7点（7対0）を与え相手チームを勝ちとする。

予選同一ブロック内で2チームが棄権する等の場合は試合の組合せを見直すことがある。

7 コートの大きさ

1コートの大きさは縦15m×横5mとする。

8 その他

ボール、ビュット、ポータブルサークルは主催者が用意する。

投球は手の甲を上にして投げることにする。

第26回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会 実施ルール

< グラウンド・ゴルフの部 >

1 競技開始

競技開始は、本部の合図をもって、各ホール同時スタートとする。

2 打 順

打順は氏名記入順でローテーション方式とする。

3 ゲーム中の判定

ゲーム中、プレーに対する判定が困難な状況となった場合、同伴プレーヤーの同意を求める。
その他、必要性が生じた場合、本部（連絡係を含む）又は審判員と協議を行う。

4 ゲーム及び順位

個人対抗戦とし、2ラウンド16ホール（8ホール×2）の合計打数で競い、合計打数の少ないプレーヤーを上位とする。合計打数が同じ場合は、生年月日の早い者を上位とする。
決勝は、予選各ブロックの上位6名が出場する。

5 紛失ボールとOB

打ったボールの紛失やコース外に出た時は1打付加し、ホールポストに近寄らないでプレー可能な箇所にボールを置き次の打を行う。

6 棄権（失格）

次の場合は棄権又は失格とする。

- （1）競技者が棄権を申し出た場合
- （2）競技開始5分前に集合しない場合
- （3）審判員の指示に従わない場合

7 コース

コース形態は標準コースとする。

予選は、赤～緑の4コース各8ホールの計32ホールを使用する。

プレーは、1グループ6人までとし、4コースとも各ホールからスタートし、最高168人が同時に行う。

決勝は、2コース16ホール（8ホール×2）で実施する。

8 記録者

各組の記録者は、競技者の中で決め、競技者の打数（スコア）を記録する。

各競技終了後、記録用紙を連絡係へ渡す。

9 その他

ホールポスト、スタートマットは、主催者が用意する。

クラブ、ボール及びマーカーは個人のものを使用する。

第26回茨城県健康福祉祭いばらきねんりんスポーツ大会 実施ルール

< ワナゲの部 >

1 競技方法

- (1) 1名9投とし、4名×9投(36投)を1セットとする。
- (2) 競技は、ジャンケンにより勝ったチームが先攻・後攻を選択し、先攻チームから1セットずつ投げる。
- (3) 予選はリンク戦、決勝はトーナメント戦で対戦する。
- (4) 投輪位置(輪を投げるライン(幅1.2m))から台までの距離は、4mとする。

2 予選順位の決定

次の順で勝負を決定する。

- (1) 勝ち数
- (2) 総得点(合計得点の多い方)
- (3) 同じ場合には代表者による決定戦を行う。ただし、5投とする。

3 決勝トーナメントでの勝負の決定

同得点の場合、代表者による決定戦を行う。この場合、投数を5投とするが、それでも勝負がつかないときは、決まるまで5投勝負を行う。

4 得点

- (1) 投輪位置から輪を投げるとき、プレーヤーが投輪ラインを踏んだり、越えたりして投げた場合は得点に加えない。
- (2) 得点は、台の表示どおりに数える。ただし、1本の棒に輪が2つ以上入っても点数は加算されないものとする。2つ目の輪は、その都度次の輪を投げる前に台から取り除く。
- (3) 投げた輪が、台手前の地面にバウンドして棒に入った場合は、得点として認めない。この輪は、次の輪を投げる前に台から取り除く。
- (4) 投げた輪が、台の上でバウンドして棒に入った場合は、得点として認める。
- (5) 投げた輪が、棒の間にある状態又は棒に引っかかり立ち上がったような状態になった場合は、得点として認めない。この輪は、次の輪を投げる前に台から取り除く。
- (6) ワナゲ台の得点の表示方法は、右図のとおりとする。

(図：ワナゲ台の得点表示)

5 棄権(失格)

次の場合は棄権又は失格とする。

- (1) チームが棄権を申し出た場合
- (2) 競技開始5分前に集合しない場合
- (3) 審判員の指示に従わない場合

なお、この場合相手チームに1セット(4名×9投)投輪した点数を与え相手チームを勝ちとする。ただし、予選同一ブロック内で2チームが棄権する等の場合は試合の組合せを見直すことがある。

4	9	2
3	5	7
8	1	6

6 投輪ルール

- (1) 輪はどのように持って投げても構わないが、投輪ラインの手前から投げる。
- (2) 投輪は片足でも良いが、投げた輪が静止する前に投輪ラインを踏んだり、越えたりした場合は無効の輪として取り除く
- (3) 投げた輪が静止するまで次の輪は投げない。

競技者への大会運営上のお願い

1 競技場所

ゲートボールは補助陸上競技場、クロッケー、ペタンク及びワナゲは野球場、グラウンド・ゴルフは球技場を使用しますので、ご注意ください。

2 集合時間

各競技とも、それぞれの試合開始5分前までに集合してください。

3 競技者の持参用具

ゲートボールのスティック及びクロッケーのマレーは、参加チームが持参してください。

グラウンド・ゴルフのクラブ、ボール、マーカーは個人で持参してください。

クロッケー及びゲートボールについては、練習用のボールを各チームで持参し、試合ボールは練習に使用しないでください。

参加チーム及び各競技者は、必ずゼッケンを持参してください。

4 競技場及び施設利用についての留意事項

(1) 火災予防のため各競技場及び施設内は「禁煙」ですので、指定の喫煙コーナーをご利用ください。(※火器の使用も禁止です。)

(2) 「ごみ」は必ず各自お持ち帰りください。

※「吸い殻・ごみ」のポイ捨てや残留物があると、次回から会場が使用できなくなる恐れがありますのでご協力をお願いします。

5 健康管理

天候の状況(雨天、酷暑、低温等)に対応できる服装を準備し、健康、安全管理は各自において十分留意して下さい。

また、常時服用している薬がある場合には、持参するようにして下さい。

大会当日、体調に異常がある場合は、参加をお断りする場合があります。

主催者においては、応急処置を除き一切責任を負いません。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、健康チェック表の提出をお願いします。

※ 健康チェック表については、各市町村からの選手推薦提出後、市町村に様式をメールにて送信しますので、大会当日提出をお願いします。

6 その他

貴重品等は、ご自身の責任で管理してください。

また、毎年、忘れ物がありますので、退場時にご確認の上、お帰りください。